

平成28年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

事業名	未来医療研究人材養成拠点形成事業			担当部局庁	高等教育局			作成責任者		
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	平成29年度	担当課室	医学教育課			医学教育課長 寺門 成真		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—			関係する計画、通知等	社会保障制度改革国民会議報告書(平成25年8月6日) 健康・医療戦略(平成26年7月22日閣議決定) 日本再興戦略(平成27年6月30日閣議決定) 科学技術イノベーション総合戦略(平成27年6月19日閣議決定)					
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、高齢社会対策			主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の成長分野と位置付けられている健康・医療関連産業の活性化や、国民に提供する医療水準の向上に資するため、高度な教育・研究・診療機能を有する大学・大学附属病院において、我が国の将来の医療をリードできる人材養成のための教育プログラムを構築し、医療関連分野のイノベーションの推進を担う人材、高齢化に伴う医療ニーズの変化に対応し得るリサーチマインドを持った優れた医師等を養成する。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	大学・大学附属病院による以下の取組を支援する。【補助率:定額補助】 ○メディカル・イノベーション推進人材を養成するための教育プログラム・コースの構築及び学生等への教育 ○リサーチマインドを持った総合診療医等を養成するための教育プログラム・コースの構築及び学生等への教育									
実施方法	補助									
予算額・執行額 (単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	2,254	2,027	1,624	1,390				
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計		2,254	2,027	1,624	1,390	0			
	執行額		2,254	2,027	1,621					
執行率 (%)		100%	100%	100%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度	
	平成29年度までに専門医療人(メディカル・イノベーション推進人材)を3,551人養成する。	専門医療人の養成人数(メディカル・イノベーション推進人材養成プログラム・コースにおける養成人数)	成果実績	人	125	1,098	2,301	-	-	
			目標値	人	110	861	1,801	-	3,551	
			達成度	%	113.6	127.5	127.8	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度	
	平成29年度までのトランスレーショナルリサーチ(TR)等の産業界との共同研究の実施状況 ※目標件数、実績件数等は精査中	トランスレーショナルリサーチ(TR)等の産業界との共同研究の実施件数	成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度	
	平成29年度までのメディカル・イノベーション推進人材養成に関するシンポジウムやセミナー等への参加大学状況 ※目標件数、実績件数等は精査中	メディカル・イノベーション推進人材養成に関するシンポジウムやセミナー等への参加大学数	成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度	
	平成29年度までに専門医療人(総合診療医)を12,876人養成する。	専門医療人の養成人数(リサーチマインドを持った総合診療医養成プログラム・コースにおける養成人数) ※現在、厚生労働省の審議会において議論されている新たな専門医制度を踏まえ、総合診療専門医の認定数等、数値目標を精査する	成果実績	人	731	3,575	7,202	-	-	
			目標値	人	645	3,127	6,153	-	12,876	
			達成度	%	113.3	114.3	117	-	-	

成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	平成29年度までのリサーチマインドを持った総合診療医養成に関するシンポジウムやセミナー等への参加大学状況 ※目標件数、実績件数等は精査中		リサーチマインドを持った総合診療医養成に関するシンポジウムやセミナー等への参加大学数	成果実績	-	-	-	-	-
目標値				-	-	-	-	-	
達成度				%	-	-	-	-	

成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	メディカル・イノベーション推進人材養成プログラム・コース数	活動実績			件	3	14	17	-	
当初見込み				件	3	14	17	17		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	リサーチマインドを持った総合診療医養成プログラム・コース数	活動実績			件	13	60	70	-	
当初見込み				件	13	61	70	70		
単位当たりコスト	算出根拠				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	未来医療研究人材養成拠点形成事業 執行額/事業参加大学数 (執行額=補助金額)			単位当たりコスト	百万円	64	58	46	40	
				計算式	執行額/事業参加大学数	2,250百万円/35大学	2,025百万円/35大学	1,620百万円/35大学	1,390百万円/35大学	

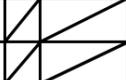
平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由	
	研究拠点形成費等補助金	1,390			
	計	1,390	0		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	4 個性が輝く高等教育の振興								
		施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上							
	測定指標		定量的指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度
		医師・歯科医師等の高度医療人材養成数	実績値		人	8,460	14,906	21,500	-	-
			目標値		人	7,208	12,236	17,493	-	-
		医師・歯科医師等の高度医療人材を養成するためのプログラム実施数	実績値		件	105	131	101	-	-
			目標値		件	105	131	101	-	-
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	本事業により、各大学の理念や強み、特色、地域性等を活かした教育拠点が形成され、教育プログラム・コースが展開されることで、我が国の将来の医療をリードし、様々な医療課題に対応できる高度医療人材が養成される。									

経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-							
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績			-	-	-	-	-	-
			目標値			-	-	-	-	-	-
	達成度				%	-	-	-	-	-	
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績			-	-	-	-	-	-
			目標値			-	-	-	-	-	-
	達成度				%	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-											

事業所管部局による点検・改善

事業所管部局による点検・改善				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	健康・医療の分野は我が国の成長分野として位置づけられ、医療関連分野におけるイノベーションの追求が求められている。同時に、急速な高齢化への対応が課題となっている。本事業はこういった社会のニーズを反映しているものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、「健康・医療戦略」等に盛り込まれた人材養成を推進するものであり、政策の優先度が極めて高い事業である。国が人材養成を担う大学に対して、財政支援を行いながら強力的に推進する必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、「健康・医療戦略」等を踏まえ、医療分野の研究開発人材や高齢化に伴う医療ニーズの変化に対応できる人材など、現在求められている人材を養成する拠点の形成を推進するものであり、適切かつ優先度が高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先の選定に当たっては、公募を実施し、第三者委員会で選定することにより、その妥当性や競争性を確保している。	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	支出先の選定に当たっては、公募を実施し、第三者委員会で選定しており、国費の負担割合は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	交付決定・額の確定の際に、交付先から提出される申請書及び実績報告書等に基づいて、支出先・用途を把握し、厳正に確認することで妥当なコスト水準かを確認している。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	交付決定・額の確定の際に、連携先や分担金について厳正に確認するなど、資金の流れを確認している。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	交付決定・額の確定の際に、用途・支出先について厳正に確認することで、事業目的に即した真に必要なものに限定している。	
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事業の実施に当たっては、事業の中間評価の結果を各大学の経費配分に反映させるなど、効率化に努めている。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	本事業の目的は、優れた専門医療人を養成するとともに教育体制の充実を図ることであり、本事業による専門医療人の養成数は成果目標に見合ったものである。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	支出先の選定にあたっては、公募を行い、最も効果的、効率的に実施できる者を選んでいる。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初見込みにおいて想定していた数と概ね同程度の人材養成を行っている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	本事業で得られた成果報告については、HPへの掲載、各種説明会での周知等を通じて活用の促進を図っている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	所管府省・部局名	事業番号		事業名

点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディカル・イノベーションを推進する専門医療人の養成については、平成27年度までの目標の1,801人に対して2,301人の専門医療人を養成しており、世界の医療水準の向上及び日本の医療産業の活性化に貢献する人材の育成が着実に図られている。</li> <li>・リサーチマインドを持った総合診療医の養成については、平成27年度までの目標の6,153人に対して7,202人の総合診療医を養成しており、将来の超高齢化社会における地域包括ケアシステムに対応するための人材の育成が着実に図られている。</li> <li>・メディカル・イノベーション推進人材の養成及びリサーチマインドを持った総合診療医の養成のためのプログラム・コース数については、いずれも当初見込みどおりの活動実績となっている。</li> <li>・全大学がホームページによる情報公開を行っており、事業における成果や効果について社会に対して積極的に情報発信している。</li> <li>・経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・用途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行うとともに、各大学の取組状況を調査し、その結果を基に、翌年度の補助金配分額の見直しも実施しており、各大学の適切な経費執行及びさらなる取組の充実が期待される。</li> </ul>				
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業については、概ね計画通りに予算執行されたものと考えられる。</li> <li>・専門家や有識者を含む第三者委員会による中間評価を実施しており、進捗状況を検証するとともに各大学に対して実効性を高めるための助言を行っている。加えて、中間評価の結果を各大学の経費配分に反映させるなど、効率化に努めている。</li> <li>・今後は事業成果をよりの確に評価するため、アウトカムの設定を更に工夫する。</li> </ul>				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	171	平成23年度	146	平成24年度	156	
平成25年度	133	平成26年度	136	平成27年度	128	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省 1,621百万円

諸謝金 0.4百万円  
委員等旅費等 1百万円

を含む

対象大学から申請のあった事業内容を審査の上、支援対象とする取組を選定し、補助金を交付する。



【補助】

未来医療研究人材養成拠点形成事業  
A. 大学(全25大学) 1,620百万円

世界の医療水準の向上及び日本の医療産業の活性化に貢献するため「メディカル・イノベーション推進人材」を養成する。また、将来の超高齢社会における地域包括ケアシステムに対応するため「リサーチマインドを持った総合診療医」を養成する。



【分担金】

B. 連携大学(全10大学 ※) 180百万円

※ 分担金の配分が無い2大学を含む。

申請担当大学と相互に連携・補完をして優れたメディカル・イノベーション推進人材やリサーチマインドを持った総合診療医等を養成する。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

(長崎大学の例)

文部科学省



【補助】

長崎大学 160百万円

テーマB: 「つなぐ医療を育む先導的教育研究拠点の構築」



【分担金】

長崎純心大学 31百万円

